



撮影地
伊豆諸島・
三宅島沖合

不思議な帰巢性

古くから伝わるおとぎ話に、ウミガメが登場する浦島太郎の物語がある。上陸してくるウミガメ

マイの3種の産卵が確認されている。産卵とふ化は浜辺で行われるので、だんだ



んと調査が進んでいる。卵が埋まっている砂の温度が高いとメス、逆に低いとオスとなって生

まったん海に帰れば、まったく謎につつまれた動物になってしまう。日本沿岸では、アカウミガメ、アオウミガメ、タイ

まれる。

砂の中から出て海に向かった子ガメは、休むことなく波に逆らい、自分が育つ

海域に運んでくれる海流をめぐして泳ぎ続ける。実はその間に、位置関係を感じする仕組みが体にできあがり、大洋を回遊するらしい。そして成長すると、生まれた浜に戻ってきて産卵するという。このウミガメがもつ帰巢性の不思議さ。ロマンいっぱい語られるが、まだ、これから解明されようとしている。

小笠原では、昔から郷土料理として、写真のアオウミガメの刺し身や煮物が親しまれている。
(水中写真家・伊藤勝敏)